

町会長連合会だより



唐沢山…藤原秀郷公の居城跡で、深い歴史を持つ山

平成29年3月1日

第17号

発行 佐野市町会長連合会
編集 会報編集部会

常盤中学校区避難訓練の実施！

～地域と学校が連携し防災に取り組む～



開催にあたり

本年度、「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」に常盤中学校区がモデル指定されており、その事業の一環として、常盤中学校区で合同避難訓練を開催しました。地元の小中学校、保育園をはじめ佐野警察署、消防、行政など様々な関係機関とともに、地元町会も住民代表として参画することにより、地域住民の自助と共助の意識の高揚が図られました。

避難訓練内容

11月29日、震度5強以上の地震が発生し、土砂崩れの恐れがあるため、市の指定避難所である常盤中学校に避難するという想定で常盤中学校、常盤・氷室小学校、とさわ保育園の園児や地元町会住民など約300名が参加し、緊急地震速報による避難訓練や、日赤栃木県支部、佐野市日赤奉仕団による炊き出し訓練、危機管理課による防災講話が行われました。

常盤中学校地区



常盤中学校区で地域・学校が連携した避難訓練を実施

避難訓練を終えて

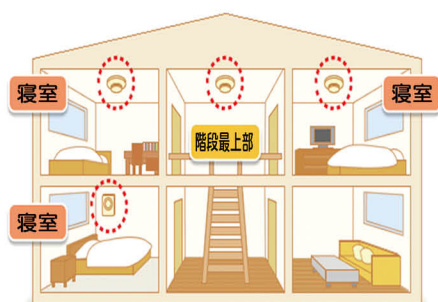
水木町会 長島信夫町会長談

「園児・児童・生徒達が自助・共助活動を実践し、自らのみでなく、周りの人たちの安全を守る行動を見て感動しました。災害はいつ起こるか分からないのですが、避難訓練に参加した全員、防災に対する意識が高めることが出来たと感じています。とても有意義な避難訓練でした。」

身近な防災対策

地震等の天災への対策も必要ですが、身近な災害である火災等の対策も必要です。

住宅火災による死者の半分以上は逃げ遅れによるものです。大切な家族とご自身の命を守るため、寝室を中心に住宅用火災警報器を設置し、こまめな点検を行いましょう。



永年在職の
町会長・町会役員の方々が
表彰を受けられました



1月12日佐野市町会長新春祝賀会（於…ホテルサンルート佐野）
1月27日栃木県自治会連合会会長研修大会（於…栃木県総合文化センター）において、長年にわたる町会活動や地域社会福祉向上に貢献された方々が、表彰を受けられました。

【佐野市町会長連合会永年在職町会長15年表彰】

青木 茂伸 越名町

【佐野市町会長連合会永年在職町会長10年表彰】

長谷川 博 飯田町
竹澤 宏 堀米町（菊川）
倉持 勇 原町
中田 金吾 新吉水町南
奥澤 詔司 新吉水町北

【佐野市町会長連合会永年在職町会長5年表彰】

山根 實 大橋町（西部）
亀山 邦夫 金井上町
厚木 健志 若松町（城東）
林 輝美 植上町
加藤 忠雄 植下町
西沢 松男 犬伏下町
竹川 鉄彦 堀米町（七区）

【佐野市町会長連合会永年在職町会役員表彰】

石川 宏 亀井町
石川 義之 若松町（城西）
恩田 定 堀米町（安良町上）
山地 宏行 新吉水町北

【栃木県自治会連合会活動功労者知事表彰】

青木 茂伸 越名町

【栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰】

長谷川 博 飯田町
竹澤 宏 堀米町（菊川）
倉持 勇 原町
中田 金吾 新吉水町南
奥澤 詔司 新吉水町北

（敬称略）



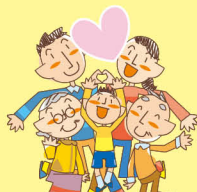
片柳義弘茂呂山町会長が、
秋の叙勲において「旭日章
光章」を受章されました

平成28年11月9日、皇居宮殿「春秋の間」他において、町会長として、長きにわたり地域に根ざした活動を行い、功績顕著な者であるとして、旭日章光章を受章されました。



町会は地域において様々な役割を担っています！

町会は住民の皆さんと共に災害時の対応、隣近所との絆づくり、いざという時の相互扶助など地域のために様々な活動を行っている団体です。町会活動に対してより深いご理解をいただき、積極的に参加してください。



- **安全・安心な暮らしを守る活動** 町会では子どもたちの安全を守るための自主防犯パトロールや自主防災の組織をつくっています。また、防犯灯の維持管理や交通安全活動も町会が行っています。
- **親睦交流活動** 円滑な地域社会を進めるうえで、地域の人々が交流することは非常に重要です。町会では、お祭りや子ども会、敬老会への協力を通して子どもから高齢者までの暮らしを後押ししています。
- **環境美化活動** 地域で快適に暮らせるよう、清掃活動を通しての環境美化活動を行っています。ごみ集積所の管理運営も町会が行っています。
- **地域情報活動** 地域の事業案内や市役所・学校・警察などからの生活に必要な情報を回覧板や広報の配布を通して、提供しています。災害時などの緊急時においても有効的な手段であると言われています。
- **地域福祉活動** 民生委員・児童委員を初め、福祉協力員、町会役員が協働によるまちづくりを推進するため、隣保活動を中心に相互扶助を通じ地域福祉の向上を目指した活動を行っています。

連合会視察研修を実施

去る10月19日（水）、千葉県西部防災センターにおいて視察研修を実施しました。

研修内容として、水消火器を使用した初期消火訓練や地震を発生させる起振装置による阪神淡路大震災と同等規模の地震体験、火災と救急についての通報の仕組みを学び、家庭用固定電話、携帯電話、公衆電話、それぞれの特性を理解し、119番通報シミュレーションによる通報体験など、災害発生時に役立つことを学んでまいりました。

防災対策は、市内各町会で行わなくてはならない重要な課題であり、災害発生時には共助（隣近所での救助）を行うことで多くの人命を救うことが出来ます。



平成26年11月に発生した最大震度6弱の長野県神城断層地震の際、白馬村で、全壊住宅等が42棟、半壊住宅が35棟、一部損壊住宅等が164棟を数え、負傷者も23人発生するなど大きな被害をもたらした一方で、地域住民らによる迅速な安否確認と救助活動により死者ゼロに抑えた事は大変素晴らしい事であり、大いに参考にさせていただきます。

本市においても、自主防災組織を立ち上げ、災害時の減災や自助・共助意識の向上を図る町会が増えつつあります。近年では、全国的にご近所づきあいが希薄化しているとメディア等で報道されておりますが、向こう三軒両隣の絆を深めながら、災害発生時にはお互いに助け合い、救助活動を行いたいものです。

佐野市消防本部、みかもクリーンセンターにおいて役員研修会を実施

研修にあたって

去る11月9日（水）、町会長連合会役員研修会を実施しました。地域防災の核になる新たな消防本部の役割や、環境衛生の重要な施設であるみかもクリーンセンターの役割を知ること、町会長としてスキルアップすることを目的として開催しました。

研修内容

佐野市消防本部では、新たに整備された「高機能消防指令センター」消防救急デジタル無線システム」の機能を知ることが出来ました。このシステムを駆使することにより、従来より現場到着時間の短縮やより迅速に災害等へ対応が出来るようになったそうです。また、実際の司令室において、住民からの通報へ迅速に対応している消防職員の姿を見ることができ、日々の活躍により私たちの生活が守られているのだと実感できました。

みかもクリーンセンターでは、普段生活するうえで必ず発生してしまう多様な「ゴミ」をどのように処理しているか学ぶことが出来ました。燃えるゴミ等はごみ焼却

施設において焼却され、その際発生する有害な排ガス等は適切に処理されていました。また、資源ごみもリサイクルされ地球環境の保全も図られていました。普段何気なく出しているゴミですが、この施設で適切に処理されることにより、佐野市の環境衛生が守られているのだと感じました。

今後の展望

私たちの生活は、消防署やクリーンセンター等で働く職員の活躍により守られているのだと感じることが出来ました。また、それを私たち一人ひとりがしっかりと理解し、支えていくことも重要であると再認識させられました。



普段からできるゴミの分別や救急救命講習等を積極的に受講し、協力しながら住みよい安全なまちづくりに貢献したいものです。

市民活動モデル町会の取り組み紹介

モデル町会 支援事業とは？

佐野市では、住民主体のより良い地域をつくるために、住民が主体となって取り組む元気な地域活動の募集・選考を行い、採択となった町会を「モデル町会」として、助成金の交付、活動のPRを行うなどの支援をしています。
詳しくは、佐野市市民活動促進課までお問い合わせください。

問合せ：佐野市市民活動促進課 0283-20-3812



また一人暮らしの高齢者の方々が参加していただくことで、地域のコミュニケーションの場としても役立ちます。今後とも若い人たちに参加していただき、より一層、地域交流の場を広げていきたいと願っています。

石塚町(緑)町会 椎名あつ子町会長談
実施して11か月経ちました。参加者の意見を聞いたところ、「杖を使用しなくても少しの距離なら歩行できるようになった。」「膝の痛みが軽減した。」「毎週参加するのが楽しみです。」等、皆さん喜んでいただいています。

この他、認知症予防講座や、ハーモニカ視聴会、オカリナ視聴会、健康維持増進のための散策などのイベントを実施し、高齢者と若い主婦の方との世代間のコミュニケーションを図るとともに、ひとり暮らしの高齢者のストレス解消・安否確認につながる等の効果をあげています。



石塚町(緑)町会
いきいき健康増進事業



活動への参加者も年々増え、平成27年には「菊沢川を守る会」を設立、今後も更に活動を活発にしていきたいと考えています。

また、きれいになった菊沢川でマスの掴み取りを行うなど、子供たちが川に親しんで遊ぶ行事も開催しています。

大橋町(市街部、西部、東部)3町会では、水質がきれいで郷土の自慢である「菊沢川」をきれいにしていこうと、町会の有志の方々が熊手や鎌などの清掃道具を持ち寄り、川に生える草の除去を行うなどの清掃活動を実施しています。

大橋町(市街部、西部、東部)3町会
で菊沢川清掃ボランティア活動を実施



地域での環境美化活動

編集後記

◆各種表彰を受賞されました皆様、誠にありがとうございます。今後の更なる活躍を期待します。

◆地域と学校が連携して防災訓練を行うことで、子供も大人も防災への意識が高まり、災害発生時には、地域が丸となり助け合い、地域を守る事が出来るのではないのでしょうか。

◆各地域の抱える課題は様々ですが、近隣町会と連携して解決にあたることは素晴らしい、これからの町会運営に必要な手法の一つであり、このような連携が広がることに期待します。

◆高齢社会が進み、地域の力を無くしては、高齢者が安心して生活することはできません。地域住民同士支えあい、誰でも安心して暮らせる地域づくりに寄与したいものです。

◆地域の活動が盛んになるためには、日頃から住民同士の絆づくりが大切ではないでしょうか。まず出来ることから、近所の皆で挨拶を交わし、明るい地域づくりに共に取り組みましょう。

発行者 佐野市町会長連合会

〒327-8501

栃木県佐野市高砂町1番地

佐野市役所 6階

0283-20-3812

発行責任者
編集部長

上岡良雄
田中正美

小野一郎 田中宗男 田中英明
土澤康一 向田守男 秦 俊一
長島信夫

▼佐野市町会長連合会は全域167町会で組織されています。